

燃え
四中
学校たより

磨き合う

14限目

11月7日(金)



これからの四中のために……

今週から、生徒会役員改選の立候補者の受付が始まりました。すでに生徒会役員として立候補をする人たちが出てきてくれています。ありがたいですね。これからの四中をひいてくれると思います。当然選挙ですから、当選、落選がありますか。私はそこは関係ないと思っています。出てくれた人たち全員でこの四中を変えてもらいたいのです。一部の^人たちだけが頑張っても、学校というものはなかなか変わりません。**全員が協力すること、様々な課題に対して乗りこえることができる**のです。そこでエジプトのアリの話をしよう。

世界一長いナイル川。長さもさることながら、川幅も相当なものです。広い所では50-60kmもあるそうです。この川をアリが渡るのだそうです。一度に3000匹も。では、どうやって渡るのか？それは、まずたくさんのアリが集まり、サッカーボールほどのかたまりになって川に浮かんで流れていくそうです。でも、普通に考えると、3分の1のアリは水の上に出るので大丈夫ですが、3分の2のアリは水の中に沈むので、このままでは2000匹が死んでしまうことになります。しかし、不思議なことに、3000匹のアリは**全部溺れずにナイル川を渡り切る**のです。

では、どうやって???

実は、このアリたちは、流されていく途中で、次々に上と下が入れかわ



ていきます。水面より下にいる時は、苦しくても上のアリのためにがまんし、上になると、ゆくり呼吸をして、また下に来て他のアリを支える準備をする。これをくり返し、気の遠くなるような距離を何日もかけて渡りますのです。➡

ナイル川を渡るという**共通の目的を果たすために**、水の中で"の苦しい"支え役を交代しながら**みんな協力しあっていく**のです。もし、ちがひなアリがいて、水の上をひとりじめしていたら、水の中で支えているアリは、次から次に溺れて、ついには水面上のわがままなアリを含めて、全部溺れ死んでしまいます。学校生活でも同じです。**少しの我慢をみんなで分かち合い**、目標に向かって、中学校生活という川をみんなで渡り切る。楽しいことだけでなく、嫌なこと、辛いことも**お互い我慢し合**ての学校生活です。お互い支え合、みんな**勉強や行事にとり組み**、いいものにしていかなければなりません。さらに、これはワスヤ学年でも同じことが言えます。同じ集団でも、全体の雰囲気良くしてこうと行動する人が増えてくると、全体が落ちついた雰囲気になるし、逆に嫌なことを言ったり、さわる人に同調する人が多くなったりすると全体が落ちつかない集団となっていく。これはどんな集団にもあてはまるそうで、専門的には『**社会的促進**』^{そくしん}というそうです。だから、今回生徒会でがんばろう、という人が多く出てきてくれているということは、これから四中が**よりいい方向に**変わり始めている証拠です。その足がかりを作ってくれた3年生にも感謝です。その流れを受けつこうとしてくれている1、2年生にも期待しています。この『**社会的促進**』を**いい方向に向けて**、みんな**いい四中を作りましょ**う!!

素晴らしい3年の合唱

今週は玉名荒尾中学校音楽会もあり、3年2組が代表で参加しました。私は出張が重なり、終わった後に2組の生徒に声をかけることができませんでしたので、今言わせてもらおうと、競争でないので順位はありませんが、トップレベルだったと思います。ほかの校長先生方からも絶賛でした。ある中学校の校長先生はわざわざ後で電話をしてこられて『四中はすごかったね、姿勢も歌声もプロがおるかと思ったよ。うちの生徒も「どこがよかったや？」と聞いたらみんな「四中がすごかった」と言ってたよ』と教えてくださりました。同じレベルで競い合ってくれた1組の人たちも含め、3年生の皆さん、本当に素晴らしい歌声をありがとう。1、2年生は来年、この先輩たちを超えてください。ね。

返信よろしく
お願いです
感想はOKです

